

# 仲町だより

着実に・たくましく

校長 澤井 英子

さわやかな風がそよぎ、すっかり秋らしくなってきました。雲一つないぬけるような青空は、素晴らしい日本晴れだと、空を見上げることが多くなってきました。10月です。ちょうど、年間の折り返しです。1学期末を迎え、学習も生活も振り返る時期となりました。

## 【仲町スタンダード】

「仲町小のやくそく」を学校生活の様々な場面の学習や生活の基盤となるルールとして具体的に示したものが「仲町スタンダード」です。低学年を基本形に、中学年・高学年と、発達段階により、自立できるよう組み立ててあります。年度当初に、ご家庭にもお配りし、学校とご家庭が共通のルールとして取り組めるようお願いしました。

何事も、『継続は力なり』といいますが、2学期に向け、この「仲町スタンダード」を再度確認して参ります。ご家庭でもお子さんの持ち物や上履きの記名など、ご確認いただくと助かります。

また、この中に、「聞き方名人」があります。

言語学者によれば、日本語は「相手に合わせる言語」だそうです。肯定か否定か、文章の最後で決まるので、相手の反応を見て語尾を代えることができる。それが日本語のよさであり、それほど日本人は皆、よい「聞き手」なのだそうです。「聴く」は、字の成り立ちから、耳を澄まして目と心で聞くことです。全体としては、「聞き方名人」が増えてきたように感じています。が、一步一步着実に取り組んで参ります。

## 【運動会】大成功 9月28日

児童数の増加により、立ち見スペースしかとれず、保護者の皆様には不便な思いをお願いした運動会でしたが、係の皆さんのおかげで、大きな混乱もなく、無事に終わることができました。皆様のご協力に厚くお礼申し上げます。

子供たちは、練習の成果を十分に発揮した素晴らしい運動会になりました。

人は、期待されると、期待に応えようとするものですが、保護者の皆様の期待、教師の本気に、子供たちも一生懸命に応え、努力していました。何より、誇らしげに輝く子供の笑顔が、すてきでした。今までがんばって練習した成果を、どうぞ見てくださいと、いわんばかりの笑顔です。

入場行進の足音。770余名もの子供たちの足音が、ザッザッとそろって向かってくる様子は、壮観でした。話を聞く姿勢や態度。応援の声。そのどれにも、運動会を楽しむ子供たちの姿がありました。

係活動では、準備の段階から後片付けまで、高学年の一人一人が活躍しました。当日、発熱をおして参加した友達をカバーしようと、役割以上の活躍を見せた応援団の子供たち。小さい子供に声をかけ、優しく世話をする児童係。用具準備や審判係等、どの係の子供たちもいつにもまして、頼もしく見えました。

運動会を通して、一つのことを真剣に取り組むことや、体を力の限り動かすこと、友達と心をついて合わせて行動することなど、多くのことを学びました。各学年とも一回り大きく成長した子供たちです。(学年の詳細は裏面)